



# 進路だより

山武市立蓮沼中学校  
令和3年4月12日(月)  
第1号

## 自分自身の進路 (キャリア) を見つめよう!

みなさんは、「進路」と言われたら何をイメージしますか?恐らく多くの方が、高校入試をイメージするのではないかと思います。確かに、中学校に入学する時とは違い高校に入学するには、自分で高校を選択し、試験を受けて合格しなければなりません。しかし、高校受験だけにとらわれすぎてしまうと、本当の意味での「進路」を見失う可能性があります。

本当の意味の「進路」とは、**自分自身が将来歩いていく「道筋 (キャリア)」**のことです。**「将来どのような仕事に就き、どのような形で社会に貢献するのか」**を考えなければなりません。ですから高校に入学することはゴールではなく、人生の中の**節目**の一つということになりますし、「高校に進学しない」という選択肢も考えられるわけです。

この「進路だより」では、みなさんが自分自身の将来を見つめ、「進路 (キャリア)」についてより深く考えられるように、さまざまな情報を伝えていこうと考えています。ぜひ「進路 (キャリア)」について考えるきっかけにさせていただけると幸いです。



## 今を生きる皆さんに求められている力

下の①～④は、これからの時代を生きていくため、キャリア教育において、みなさんに求められる4つの力です。中学校生活全体を通して、磨いていって欲しいと思います。

### ①人間関係・社会形成能力

他者の個性を尊重し、自己の個性を發揮しながらさまざまな人々とコミュニケーションを図り、協力・協働して物事に取り組む能力。

### ②自己理解・自己管理能力

自分ができること、したいことについて社会との相互関係を保ちつつ、自分自身の肯定的な理解に基づき主体的に行動し、進んで学ぼうとする能力。

### ③課題対応能力

仕事をする上でのさまざまな課題を発見・分析し、適切な計画を立て粘り強くその課題を処理し、解決することができる能力。

### ④キャリアプランニング能力

働くことの意義を理解し、多様な生き方に関するさまざまな情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく能力。

蓮沼中学校でのキャリア教育の各学年での目標は以下のとおりです。

## 蓮沼中学校キャリア教育 各学年の目標

### 第1学年

将来の進路についての関心を高め、自己理解の必要性を自覚し、自分の進路について考えようとする態度を養う。

### 第2学年

自己理解を深め、職業や上級学校などに関する情報を理解し、進路に対する希望や計画をもつとともに、自分でその計画を吟味し実現しようとする態度を養う。

### 第3学年

自己の特性や希望する進路の情報を確かめ、自分にふさわしい職業や学校などを選択するとともに、その進路に適応し、向上していこうとする態度を養う。

進路についての学習は3年生になって始めるのではなく、1年生の時から始まっていることに注意してください。進路とは道筋のことですので、中学卒業後の進路について決定するのは3年生ですが、その時に向かって、考えたり、調べたり、相談したりということは1、2年生のころから始めていなければなりません。自分がどのような道筋を進めば、充実した人生を送ることができるのか少しずつ考えていきましょう。

## 自分自身の将来を切り開くために!

### ①基本的な生活習慣をしっかり整え、正しい礼儀作法やマナーを身につけよう!

- ・『朝、自分で起きて身だしなみを整え、しっかりと朝食をとって元気に学校に登校する』あたり前のことのようにですが、この習慣がきちんと身につけている人は、就職しても同じように仕事に向かうことができるはずです。
- ・自分の言葉や態度が相手にどのように受けとられるかを考え、自分も相手も大切にできる心豊かな人になれるよう、普段の生活から礼儀作法やマナー、人との関わり方をしっかりとっておきましょう。

**※進学する際も、就職する際でも、礼儀作法や身だしなみ、丁寧な言葉遣いは大きな力になってくれるはずです。**

### ②学力の向上を目指そう!

- ・高校入試や入社試験など進路選択の際には、学力を試されることがしばしばあります。しっかりと授業を受け、宿題などの課題に取り組むことは当然ですが、中学生は、**その日の授業の内容が理解できているか確認したり、次の授業での学習内容に見通しを持ったりするためにも、家庭でも学習に取り組むことが必要です。**中間・期末の定期テストや各授業での単元テスト、三年生はそれに加え復習テストの期日を確認し、万全の準備でテストに臨めるように心がけましょう。

